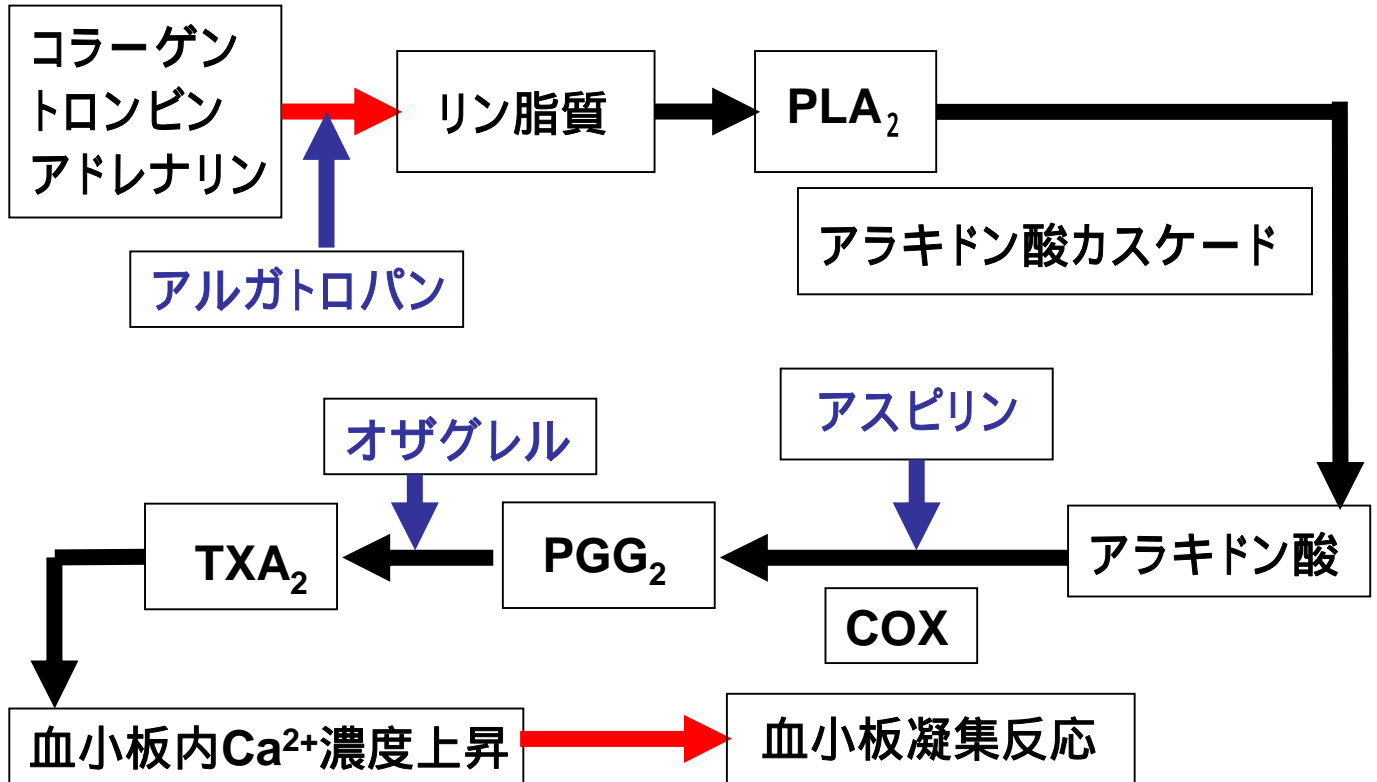


# 抗血小板薬

抗血小板薬の作用機序です。

青文字で記入されているものは医薬品になります



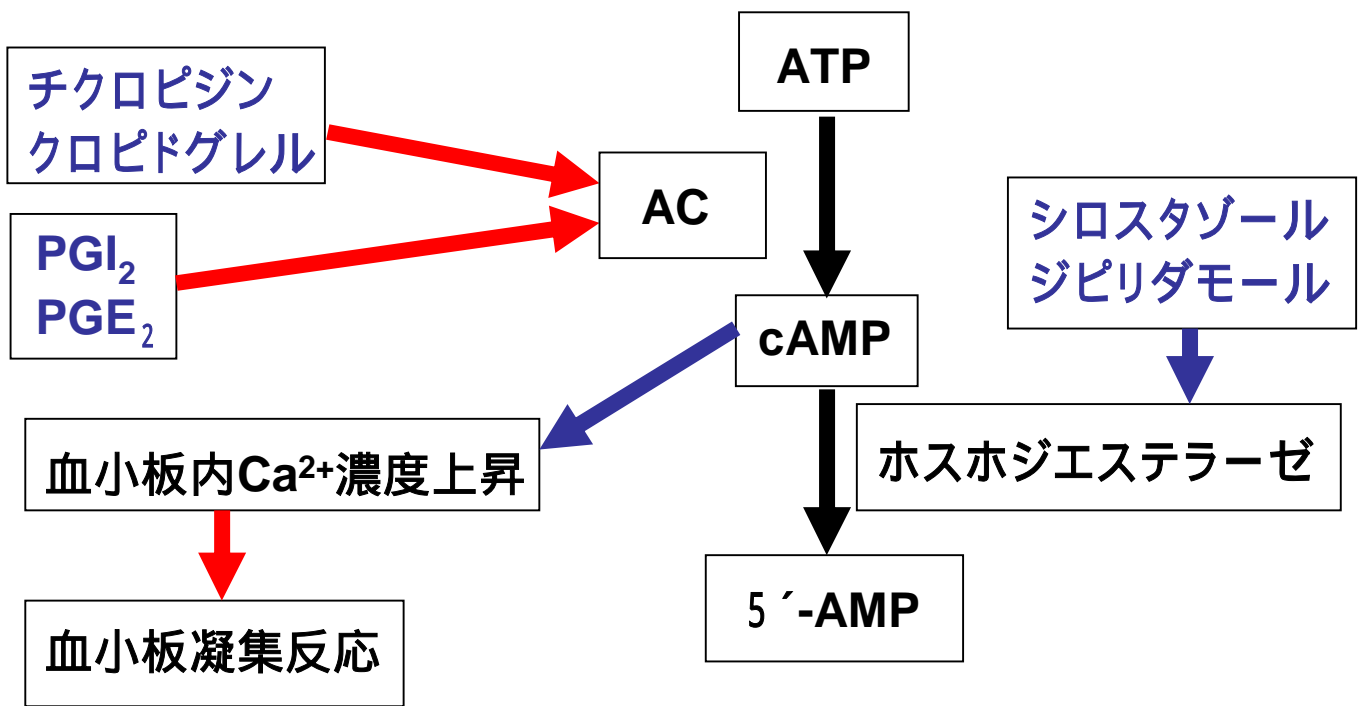
→ : 促進      → : 抑制

PLA<sub>2</sub> : ホスホリパーゼA<sub>2</sub>

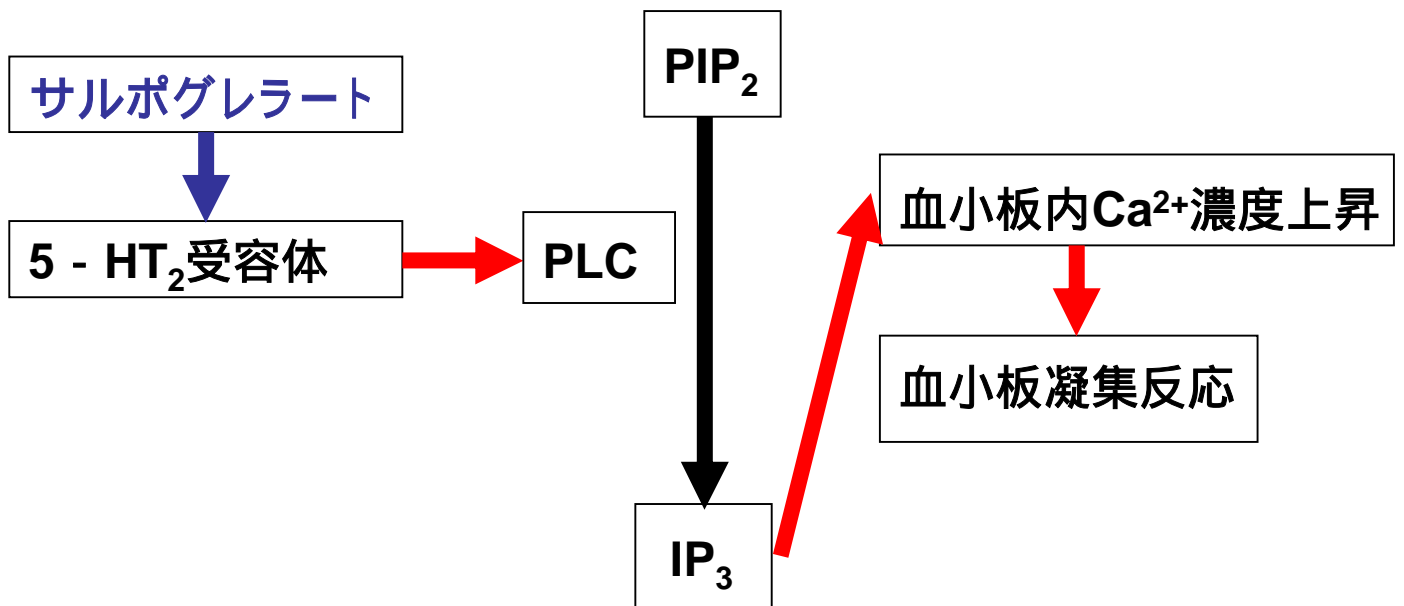
COX : シクロオキシゲナーゼ

PG : プロスタグランジン

TX : トロンボキサン



→ : 促進      → : 抑制  
 AC : アデニル酸シクラーゼ



→ : 促進      → : 抑制  
 PIP<sub>2</sub> : ホスファチジルイノシトール二リン酸  
 IP<sub>3</sub> : イノシトール三リン酸  
 PLC : ホスホリパーゼC

## シクロオキシゲナーゼ阻害剤

### アスピリン

シクロオキシゲナーゼを阻害しトロンボキサンA<sub>2</sub>の産生を阻害する。作用発現が速やかである。

## トロンボキサン合成阻害

### オザゲレル

トロンボキサンA<sub>2</sub>の合成を阻害し血小板凝集を抑制する。PGI<sub>2</sub>の産生も亢進する。

## cAMPを増加させる薬剤

### チクロピジン

ACを活性化しcAMP産生を高め血小板凝集を抑制する。効果発現まで24～48時間かかる。投与2～3ヶ月間は特に肝機能障害、血小板減少症に注意する。

### クロピドグレル

ADP受容体に作用しACを活性化しcAMP産生を高め血小板凝集を抑制する。チクロピジンよりも安全性が高い

### シロスタゾール

ホスホジエステラーゼを阻害し、cAMP濃度を増加させ血小板凝集抑制作用、血管拡張作用を示す

### ジピリダモール

ホスホジエステラーゼを阻害し、cAMP濃度を増加させ血小板凝集抑制作用を示す。また、冠血管拡張作用も持つ。

## プロスタグランジン製剤

リマプロストアルファデクス

プロスタグランジンE<sub>1</sub>誘導体。ACを活性化しcAMP産生を高め血小板凝集を抑制する。

ベラプロストナトリウム

プロスタグランジンI<sub>2</sub>誘導体。ACを活性化しcAMP産生を高め血小板凝集を抑制する。

## 5-HT<sub>2</sub>受容体拮抗剤

サルボグレラート

5-HT<sub>2</sub>受容体を阻害し血小板抑制作用を示す。

参考資料: 治療薬マニュアル2006 医学書院

今日の治療薬2007 南江堂

処方わかる医療薬理学2004-2005 Gakken

薬理学 廣川書店